

摂食嚥下リハビリテーションと 運動学習

基礎理論と臨床実践

オンライン



講師

柴本 勇 先生

(聖隷クリストファー大学)

摂食嚥下障害リハビリテーションでは、「安全に食べる」ことを目指した課題特異的な訓練が行われます。これは、単に摂食運動を繰り返すのではなく、適切な環境を設定し、実際に食べることを通して「安全に食べる」という活動（行動）を学習し、獲得していくことを意味します。しかし、行動を繰り返すだけで、目的とする動作が獲得できるとは限りません。より効率的かつ確実な学習を促すためには、「運動学習」の視点を取り入れることが重要です。運動学習理論に基づいて摂食訓練を組み立てることで、より科学的なリハビリテーションの実践につながります。本セミナーでは、運動学習理論の基礎的な知識と原則を整理したうえで、摂食嚥下リハビリテーションの臨床に運動学習の考え方をどのように取り入れ、実践していくかを解説します。

第1回

9/18 (金)

運動学習理論の基礎

運動学習の基本的な概念や理論の基礎を解説します。運動学習とは何か、フィードバックの種類や与え方、運動の選択や負荷、運動学習の特異性など、運動の学習と定着を促すための理論的背景を紹介します。

第2回

9/25 (金)

摂食嚥下リハビリテーション での運動学習とは

摂食嚥下リハビリテーションにおける運動学習の具体的な考え方や活動とその重要性について解説します。加えて、「安全に食べる」という行動の再獲得において、学習効果や効率をいかに高め生活を支援するかを受講者の皆様と共に考えたいと思います。

開催方法
時 間
参加費
お申込み

オンライン(Zoom)

19:00~20:15

1講座につき 当研究所会員1,000円 非会員3,000円

右記のQRコードからお申込みください。

* 詳しくはホームページ <https://fc-science.or.jp> をご覧ください。



一般社団法人 食とコミュニケーション研究所